

## 【第一章】女教官の顔面騎乗

整列！

まずは自己紹介からさせてもらおう。

私は『キシリア』。本日より貴様ら訓練兵の教官として、軍とは何か、戦うとはどういうことかを教えてやる。

しかし、私が教えてやるのは素質のある人間だけだ。

成長の見込みナシと判断すれば容赦なく切り捨てる。

せいぜい頑張ることだな。

さて……先程貴様らの能力テストの結果を拝見させてもらったが……正直言って、期待外れもいいところだ。

特に訓練兵番号 82 番……おい、何をキョトンとしている。貴様のことを言っているのだぞ。

そう、一際軟弱そうな見た目のお前の成績にはガッカリだ。

全て平均以下、まるで話にならん。

訓練終了後、私の教官室に来るように。

そこで貴様のこれからの処遇について伝えてやる。覚悟しておけ。

……さて、前置きが長くなったが、早速訓練をはじめるとするか。

まずはウォーミングアップとしてグラウンド 50 周と木刀の素振り 2000 回だ。

それを終えた者から訓練を開始する！

さぁキビキビ動け！ 時間は限られているぞ！

(キシリアの教官室にて)

(ノック)

いいぞ、入れ。

(扉 開閉音)

ああ……82 番、貴様か。よく来たな。

まあ、その椅子に座れ、これからじっくりと、貴様の現状について説明してやる。

……くく、絶望的な表情を浮かべているな。

そんな顔をしているということは、自分の処遇について、大方予想がついているんだろう？

結論から言おう。

貴様に兵士は向いていない。今すぐやめろ。

運動能力も知力も精神力も何一つ足りていない。

体格も貧弱で、すぐに潰れてしまいそうだ。

私は、わざわざ貴重な時間を使って貴様のようなゴミクズを訓練してやるほど暇では無い。

ほら、この書類にサインしろ。

除隊届だ……貴様は兵士ではなく一般市民として余生を謳歌するがいい。

……どうした、早くペンを持て。

……は？

なんだと？嫌だ？

(怒りを堪えながら)

チッ、ふざけるなよ貴様……！

(壁ドン)

(間近で)

上官の命令に逆らう気か？

いい度胸をしているじゃないか。

だが、反抗するなら容赦はしないぞ。

貴様の心を徹底的にへし折ってやる。

自分の惨めさを痛感するまでたっぷりとな。

(ここまで)

気づいているのか？

この教官室は特殊な作りをしていてな、私の机の引き出しに隠されたスイッチを押せば、自動でその扉の鍵が閉まるようになっている。

何のためにこんな設計になっているのかは分からんが、今回に限っては都合がいい。

わかるか？

……貴様はもう、私から逃れられないのだ。

諦めて私に従え。

……ん？

私が何をするのか、気になるのか？

それはな……フンっ！

(押し倒す)

(間近で恍惚と有声音囁き)

くく、貴様はやはり軟弱だな。少し力を入れただけで簡単に押し倒せてしまう。  
そのまま抵抗せずにいろよ……貴様はこれから、私の性奴隷となるのだからな。  
(ここまで)

何を言っているのか分からないという顔だな。

簡単なことだ。

貴様は軟弱で無能極まりないが、私はそんな男を滅茶苦茶にしてやるのが大好きでね。  
貴様が除隊を拒み続ける限り、私はこれから毎日、貴様を徹底的に虐めてやる……♡  
さあて、最初は何をして虐めてやろうか……？

……くく、なあんてな。

実はな、訓練中ずっと、私は貴様をどう虐めるか考えていたんだ。

どうすればより屈辱を与えられるか、どうすればより苦しむかを、考えていた。

そして、いいアイデアを思いついたよ。

(誘惑するように)

……んふふ♡

ほおら、私のケツを見ろ……♡

デカくて魅力的なエロおいケツだろう？

(ここまで)

このデカケツを、貴様の顔面に押し付けてやる。

くく、おいおい、そんなにもがくな♡

大人しくしていないとッ……貴様を椅子にできないだろう、がッ！♡

(顔面騎乗開始)

……ふうーッ♡

最高の座り心地だ……♡

貴様は兵士よりも椅子の方が向いているかもしれないなあ♡

ん……ッ♡

こら、もがくな……！

まったく、手間をかけさせる奴だ。

これは、お仕置きが必要だな。

ほおら、大人しく……しろッ！♡

(放屁 中ぐらい)

おおっ、くっさあ……♡

どうだ？♡上官の濃厚なオナラは……？♡

ははっ♡強烈だな、これは……ッ♡

おいおい、先程までの元気はどうした♡途端に大人しくなったじゃないか♡

どれ、もう一発……ッ！♡

(放屁 中ぐらい)

はあ、たまらないなあ……♡

臭すぎて、頭がクラクラしてくる……♡

こんなものを至近距離で味わったら、鼻が馬鹿になってしまうかもなあ……♡

んふ、んふふふふッ♡

……おや？

(サディスティックに)

……おい、貴様。

なんだ、コレは……。

……なぜチンポをおっ立たせていると聞いているのだッ！

まさか、私のオナラの臭いを嗅いで、興奮したとでも言うのかッ！この変態めっ！

……ほう？

ほう、認めないつもりか。

屁の臭いになど興奮はしないと、そう言いたいんだな？

よし分かった、では、証明してみせろ。

どれ、ではもう一度屁をくれてやる。

くれぐれもチンポをビクつかせたり、変な声を出したりするんじゃあないぞ？

(ここまで)

さあ、いくぞ……ふんっ！♡

フンッ！♡

ふうんッッ！♡

(放屁 中ぐらいを三連発)

くくっ、あははははッ♡

ほうら、まだまだ、出るからな……ほら、ほらほらほらッ！♡

フンッ！！♡♡

(放屁 大きめ)

……はぁ。

呆れたチンポだ、まさか、さらに勃起させるとは。

何が屁の匂いになど興奮しない、だ。

認めろ。屁に興奮する、どうしようもないマゾヒストなんだよ、貴様は。

……おお、そうかそうか、まだ認めないか。

ならば、もういい。

屁で足りないのなら、それよりも汚くて臭いもので、無理やり分からせてやる。

……くく、分かるだろう？

今から貴様には、私のウンコをくれてやる♡

くく、喜べ♡

貴様のようなドM野郎にはもってこいのプレゼントだ♡

しかも、ただのウンコじゃないぞ♡

私は大食らいでね、一日三回はトイレに行く。

その度に大量のクソをひねり出しているのだが、今日は貴様たち訓練兵の訓練があったせいで一度も行けなくてなぁ……♡

おかげで、いつもの倍近い量をひり出せそうだ♡

あ〜ッ♡くくっ、ゴポゴポと腹が蠢いて、糞を出したがつているのを感じるッ♡

早く軍服を脱がないと、勝手に漏れ出てしまいそうだ♡

んふふ♡流石に軍服を汚す訳にはいかない。ほら、目の前で脱いでやる……とくと拝むがいい♡

……ん、しょ……っ！♡

(脱衣)

くく……どうだ？

スカートを脱ぐなりいきなりデッカいケツが出てきて驚いただろう？

下着をつけると動きにくくてな、普段はこうしてノーブラ、ノーパンのまま過ごしているのだ♡

どうだ？私の生ケツは。

くく、なかなかのものだろう？この尻のライン、丸みを帯びていて、柔らかそうな肉感

……♡

触らずともわかる、きっと手に吸い付くような肌触りで、とても揉み心地がいいのだろう  
なあ♡

だが、貴様には揉ませてやらん♡

貴様のような軟弱者は、顔面でその柔らかさを味わうことだ、なッ！♡

(再度顔面騎乗)

ん〜ッ♡いい、実にいいぞ♡

貴様の唇がケツ穴に触れて、たまらなく気持ちがいい……ッ♡

んおッ♡

(放屁 中ぐらい)

くく、興奮のあまり、思わず屁が出てしまった♡

フィルター無しの特濃ガスだ♡

そら、もっと深く顔を押し付けてやる♡貴様の顔がケツ肉に埋まるくらいにな……ッ！♡

んふっ、んふふッ♡

ほうら、オナラのおかわりだ、ぞッ！♡

(放屁 大きめ)

はあ〜……♡

んんッ！？

(キシリアの腹が鳴る)

(排便我慢しながら恍惚と)

ん……おおッ……！♡

さあ……きた、きたきたきたッ、クソが降りてきたぞお……ッ！♡

ほおら、見ろ♡肛門が大きく広がってゆく……ほら、ほらほらほらッ！♡

ヒクヒク蠢いて早くクソを出したがつているのが分かるだろう？

……こら、もがくな、逃げるな！

ケツ穴からブリブリひり出すデカ糞、ちゃんと顔面で受け止めろお！♡

さあ、よおく見ておけよ……♡

私の、教官の特大ウンコを、見せてやるからな……ッ！♡んんッ！♡

ふうーッ♡ふうーッ♡

ふんっ、んぬぬぬぬ……ッ♡お、おおおおお……ッ♡  
ほら、出てくるぞ……ッ！♡  
ぶっといウンコがッ、出てくるぞおッ！♡  
ふんっ、んっ、んっ、んっ！♡  
んッ、おおおおおッ！♡

(脱糞)

(脱糞しつつ、快感に酔いながら)  
んおおおっ、出るっ、クソが、モリモリとおッ……！♡  
(ここまで)

(いきみ声混じりの喘ぎ声 15 秒ほど)  
@@

んぬおおおッ！♡  
おッ、おおおッ……♡  
んっ、ぬうッ……！♡

(脱糞終了)  
(放屁、大きめ)

(余韻に浸りながら)  
はぁッ、はぁッ……♡  
どうだ、これが私の糞だ……ッ♡  
デカくて、長くて、臭い、立派な糞だったろう……？♡  
くく、貴様を便器にしたせいか、いつもより数段気持ちよかった♡  
気に入ったぞ♡  
これから毎日、こうやって貴様に私の糞を堪能してもらおう……♡  
明日も訓練後に私の部屋に來い♡  
たっぷり可愛がってや……ん？  
おいおい、氣絶してるのか？  
まったく、この程度の糞で氣を失うなど、本当に情けない奴だな。  
……こんなことでは、明日からのプレイが思いやられるというものだ。  
まあ、今日のところはこれぐらいにしておいてやる。  
また明日から、たっぷりと虐めてやるからな♡

覚悟しておくがいい……ッ♡くくくくくッ♡

## 【第二章】女教官の泥酔野外脱糞

(数日後)

よし、本日の訓練はこれにて終了とする。  
各自、しっかり体を休めておくように。  
それと……おい、訓練兵番号 82 番！  
貴様はいつものように私の部屋まで来い。  
以上、解散！

(キシリアの教官室にて)

(ノック、扉開閉音)

おお、よく来たな。  
待っていたぞ。  
さあて、今日は何をしようか……。  
そうだなあ……よし、決めた。  
貴様、確かこの訓練所から自宅までは近かったな？  
ならば、そこへ私を案内しろ。  
……なんだ、その顔は。  
貴様は私の命令が聞けないと言うつもりか？  
いいか、拒否は許さない。  
ただ、はいと答えればいい。  
もう一度言う。  
私を、貴様の自宅へ案内しろ。  
……ふん、始めからそうしていればいいものを。  
では、早速向かうとしよう。

(聞き手の自宅にて)

ここが貴様の家か。  
……狭いな。それに、散らかっている。  
家族はどうした？ 家を出て来た訳では無いんだろう？  
……なんだと？  
戦争の影響で、家族は全員、死んだ？

(申し訳なさそうに)

……そ、そうか、それは……その、悪いことを聞いたな。  
貴様がいつまでも除隊を拒むのも、それが原因なのか？  
……ふん、身寄りも学もない自分にはそれしか道がないから、か。  
なるほどな……。  
(ここまで)

と、ところで貴様、腹は減っていないか？

(少し優しげに)

……ちょうど晩飯時だろう？  
このへんに行きつけの酒場があるんだ……。  
ほら、早く行くぞ。ついて来い……。  
(ここまで)

(酒場にて)

そこの店員、メニューの…これとこれ、あとこれも頼む。あ、それからこっちのも追加で。  
おい、貴様は何が食べたい？  
何でも好きなものを頼んでいいぞ。  
……はあ？  
金がない、だと？  
貴様、ふざけているのか？ 私が奢るに決まっているだろう！  
……だから、さっさと頼め。  
食いたいものを、好きなだけな。  
よし……それでいい。  
さて、料理が届くまで少し話をするとしよう。  
貴様、確か戦争で家族を亡くしたと言っていたな。  
……私も、実は同じなのだ。

(遠い過去を思い返すように)

私にはたった一人の弟がいてな。  
この国のために尽くしたいと言って、志願兵になった。  
もちろん私は反対だった。まだ幼い弟の命を危険に晒すなんて、そんなことはあってはならないことだからな。

だが、あいつは聞き入れてくれなかった……そして、戦場であっけなく命を落とした。

……馬鹿な弟だった。

戦場で生き残るだけの力も持たないのに、兵士を志願し国に命を捧げるなど……。

だから私は一線を退き、弟と同じような愚か者が兵士を志さないよう、教官として才能のない訓練兵を追い出してきた。

そして、貴様もそのうちの一人になる……はずだったが……。

はあ、貴様ときたら、いつまでも私のシゴキに耐えおって……。

(ここまで)

……少し、湿っぽい話になってしまったな。

お、料理が来たぞ。

この料理は絶品でな、酒によく合う。

だからついつい飲みすぎてしまうんだ。

貴様も飲め。酒が飲めない訳では無いんだろう？

ほらほら、かんぱーい……！

(数時間後)

(以降酔っ払った感じで)

ん～……らからきひゃまは訓練兵などやめへ、ろこか平和なとこでくらせばいいのだあ～  
♡

……ん？ なんらあ～？ きこえらいぞお～？

……飲みすぎい？

んう……酔ってなろいなぞお？♡

んおっ、ひっく……ろうひて帰ろうとする……？

まら飲める……んん？ 閉店ん？

んう～……くそう、ほら、帰るぞお！

金は……んあ、計算めんどくさい、これらけあれば足りるらろ……っ。

よっこい、しょっ……！

(千鳥足で)

おっっと、ああ～……足がふらついて、転びそうだあ……♡

んんう……♡

おおっ……とっくと……♡

んう、あぶな……おっ、肩、貸ひてくれるのか？

んお、優しいんなあ……♡

んう……二件目、いくかあ？  
やめておきましょう、って……なんらあ？  
わらひのめーれーが聞けないのかあ？  
んんう……それにしても、あつい……♡  
ん〜……服、脱ごお♡

(服を脱ごうとする)

んんう……♡なんら、なににする、やめろお♡  
わらひはあついんだあつ、脱ぐのは当然らのお♡  
んんう……ろじい？  
せめへ人目のないところ？  
何を言っへるんだ、きひやまあ……♡  
おっ、無理やり連れていくなあ……んうう……♡

(路地裏へ)

んああ……あつい……もうぬいでもいいかあ……？

(脱衣)

はあ〜、すずひい……♡  
すはだに夜風が冷たくて、きもちいいなあ……♡  
んふ、貴様も脱げえ、ぬーげ♡  
はは、真っ裸になりゆと、涼しいぞお……♡  
ん、ひっく……でも、ああ〜……ううツ、すこひ、寒いかもお……！  
……んぐ、寒くて、おひっこ漏れそうらあ♡  
といれまで我慢、めんどくさいなあ♡  
……んう、ま、いっか、ここでしちやえ♡  
はあ？ え〜っ、らめえ？♡  
だめじゃらい♡しょんなこと言っても、もう出りゆっ♡  
ションベンでりゅうっ♡

(放尿)

(排尿の快感に浸りながら)

んはあ〜〜〜ツ……♡

んおお、出てる、いっぱい出てりゆう……ツ！♡

はあ、気持ちいい……♡見ろお、わらひのションベン……♡

あは、噴水みたいでキレーらなあ……♡

どうだ、もわもわと湯気が出ひえいるらろ……ツ♡

ん、んお……♡

んふふふふツ♡

じよぼじよぼじよぼ〜……♡

はああ〜〜……♡

(ここまで)

(放尿終了)

……ふうっ、すつきりひたあ♡

ん〜、ふんっ♡

(放屁 中ぐらい)

うおお……♡えへへ、オナラも出たあ♡

恥ずかし……でもま、いっかあ♡

きひやましかいないからなあ……♡

おっ、またでるっ！♡

(放屁 中ぐらい)

あ〜っ、外でブピブピ屁えこくの気持ちいい……♡

癖になっちゃいそお♡

もっとならしちやおお……ふんっ、ふんぬぬぬっ！♡

(放屁 大きめ)

はあ〜……♡

んふ♡なあきひやまあ♡

さっきから私のケツ穴ガン見してるらろお？♡

尻をぶっこく度に、チンポビクビクさせへ……バレてらいとでも思ってるのかぁ？♡  
あ〜、わらひも興奮してきたぞお♡  
おらっ、脱げっ♡今日は機嫌がいいからなあ♡  
きひゃまのチンポ舐めしゃぶってやるぞ♡  
ほら、早く脱げえ……♡んんっ……♡

(聞き手 脱衣)

おおっ！♡  
んふっ♡  
チンポ、デカイなあ……♡うまそうだなあ……♡  
んんっ……いひゃひゃひまあふ……ッ♡

(フェラ開始)

ちゅっ♡……んふっ♡……ちゅぽっ♡  
ん〜っ……れろれろっ♡んふふっ♡  
どうらあ？♡ペロペロ舐められるの、たまらんらろ……？♡  
こおんなにバッキバキに勃起させて……♡よっぽど溜まってたんらなあ♡  
あ〜っ、わらひも限界い♡  
ジュポジュポしひゃいい♡貴様のデカちんぽ、思いつひり吸い付いてやふうっ♡

(激しい水音 20 秒ほど)

@@  
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

んふっ♡じゅぽっ♡ぢゅぽっ♡  
ぢゅぞぞぞぞぞぞぞおっ♡  
んっ、んむうッ！♡

(放屁 中ぐらい)

んふふふ……ッ♡  
ふは、チンポビクビクしへ……♡  
本当にオナラ好きなんらなあ……♡  
ほれなら、ブピブピぶっこきながら、ちんぽしゃぶってやろお……っ♡

(フェラ音 15 秒ほど、時折んんっ、といきむ)

@@

ふは……♡

はあ……ッ♡

なんらか、オナラぶっこきすぎへ、糞がしたくなってきたぞお……♡

(ハイテンションで)

んふふっ♡

おいきひやまあ♡わらひがウンコするのと一緒に、ザーメンびゅっびゅしろお♡

くっさいザーメン飲みながらくっさいウンコひり出したんだあ♡いいらろお?♡

……んふっ♡いいお返事らなあ?♡

ほれひや、いっひやひやっひま〜ふッ♡

(ここまで)

(より激しいフェラ音 20 秒、時折いきむ)

@@  
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

んっ、じゅぽっ♡

ああ〜……ッ♡

おおっ、ぐるっ、ウンコ出るうッ!♡

でりゅうううッ……♡

んじゅるるるっ、ジュボジュボジュボッ!♡

(フェラしながら)

ほらだひえっ♡じゅるっ、ちゅぷっ♡

わらひが、くっさいくっさいうんこひり出すの見ひえながら、口まんこにザーメンびゅっ  
びゅっひろおっ!♡

んっ、じゅぶぶぶぶッ!♡

おほっ、でるっ、イグウッ!♡

チンポしゃぶりながら、クソひり出してイグッ!♡

んんんんんッ♡じゅぶっ、じゅずぞぞぞぞ〜〜ッ!!♡

(脱糞、射精、絶頂)

(精液を嚥下する)

ん〜ッ! ?♡

んくっ、んくっ、ごくっ♡

んぐっ、んくっ♡んん〜〜ッ♡

んふ、んふふふふ……♡じゅずっ、んくっ、んくっ♡

(放尿)

(恍惚と)

んふう〜……♡

んんっ……♡んんん……♡

(脱糞終了)

(放屁 大きめ)

じゅず〜……♡

じゅぽん♡

んはあ♡クソもせーしもいっぱい出たなあ……♡

あ〜、すっきりしたあ♡

あは♡外でクソするのも悪くないらあ……♡

これは、ハマりそうら……♡

……ん、すこひ疲れた……肩を貸せえ……♡

ちよっただけ……ちよっただけでいい……♡

ん……すう〜……すう〜……♡

……んお?

寝てないぞお?

わらひは眠くなんか……ないい……すう〜……んうう……♡

### 【第三章】女教官の特別訓練

(翌日)

(聞き手の自宅にて)

ぐう～……すう～……♡

(寝ぼけながら)

んん……ふわあ、よくねたあ……♡

……ん？

どこだ、ここは……？

昨日、確かアイツと酒を飲みに行って……。

それからの記憶がないな……と、いうことは。

(ここまで)

(少し焦りながら)

しまった……やはり、また酔い潰れてしまったのか。

何という不覚……教官失格ではないか。

んん？

いや待て、ということとは……まさか、ここは……！

(ここまで)

(ドアが開く)

やはり、貴様の家だったか……。

(恥ずかしそうに)

……昨日は迷惑をかけたな。

その、すまなかった……。

私はその……酒を飲むと、少しタガが外れてしまうところがあつてな……。

だから普段はあまり飲まないのだが……昨日は、つい飲みすぎてしまって……。

恐らく、酔い潰れていた私を放っておけず貴様の自宅へと連れてきたのだろう？

……全く、情けない話だ。

(ここまで)

とりあえず、礼だけは言わせてもらおう。ありがとう。

そして、何があったかは分からないが、できれば昨晚のことは忘れてくれると助かるんだが……ダメだろうか？

……そうか、助かる。

今日は仕事もない。一宿の恩に報いるためにも、貴様に私が特別訓練をしてやろう。

……くく、どうした、顔が引きつっているな？

安心しろ、普段の苦しく厳しい訓練のようなことはしない。

特別訓練、と言ったのは……ふふ、まあ、その……照れ隠しのようなものだ。

本当のところを言うと……そうだな、これはご褒美のようなものだ。

くく、気持ちよくて病みつきになってしまうかもしれないぞ？

何をするのか、だって？

それはな……くく♡

(愉しそうに)

『ケツズリ』だよ……♡

私の尻を使って、チンポをシゴいてやるんだ♡

でっかくて柔らかい尻肉でチンポを挟み込み、ズリズリとケツ穴に擦りつけて……♡

ああ、考えただけでもゾクゾクしてくるな……♡

ふふ、それじゃあ早速始めようじゃないか……♡

(ここまで)

(脱衣)

まずは下準備だ……♡

んっ……♡ほおら……見ろ♡

見慣れたケツ肉だろお……♡

これが貴様のチンポを挟んでくれるんだから、感謝して奉仕するが如く揉んでみろ……♡

んふっ♡ほら、もっと強く……♡

んふ、んっ……♡そうだ、それでいい……♡まだ遠慮があるが、少しはマシになった……♡

貴様も興奮してきたみたいだなあ……♡

チンポ、もうピンピンに勃起しているぞ……♡

んふっ……♡さあ、我慢できないんだろう……？♡

ほら、早くズリこけ……♡

やわらかあいケツ肉でちんぽコキまくって、ザーメンどびゅどびゅしろお……♡

ほら、ほらあ……♡

(尻コキ開始)

んふっ♡ふふふッ♡

夢中になって腰振って、可愛い奴め……♡

ケツ肉気持ちいいかぁ？んん？♡

くく、返事もできないほど感じてるのかぁ……？♡んふふっ♡

興奮しすぎ、だ……♡

童貞丸出しの必死ピストンで、私のお尻を犯しているつもりになっているんだな……♡

本当はケツ肉じゃなくて、マンコ……このメス壺にハマてチンポブっこきたいんだらう？

♡

くく、言わなくてもわかる♡

鼻息荒らげてへこへこしながら、おまんことアナルに必死にチンポ擦りつけてるもんなぁ……♡

貴様の先走り汁で、ぐちゅぐちゅといやらしい音が響いているぞ……♡

ハマたいか？

私を犯したいか？

くく……でも、だぁ～め♡

貴様のような軟弱者に私のマンコは刺激が強すぎる……きっとチンポ爆発して壊れてしま  
うぞぉ……♡

だからケツ肉で擬似セックスして、トレーニングだ……♡

ほぅら、腰振りもっと早くし、ろッ！♡

(放屁 中ぐらい)

んッ、ふうう～ッ♡

くく、ただケツ肉でチンポ扱くだけかと思ったか？

私がそれだけで満足するとでも……？♡

貴様のチンポに私の尻の香りを染み付けてやる……ッ！♡

ふんッ、フンッ、ンッ、フウッ！♡

んおッ！♡おほっ、おおおっ！♡

(放屁 中ぐらい 三連発)

くく、あつうい尻をチンポに浴びせられる気分はどうだ？♡

気持ちよすぎて、チンポが蕩けてしまいそうだらう？♡

ほらっ、教官のくっさいオナラを嗅ぎながらもっともっとズリまくれッ！♡もっと激しく

動けえ……ッ！♡

ふん、ぬううッ！！♡

(放屁 大きめ)

んおおッ！♡

くく、でっかい屁をブッコくのは気分がいいなあ……♡

貴様もビクビク震えて喜んでるようだし……♡

……ん？

おや？

おやおや？

なんだ貴様、チンポをヒクつかせて……まさか、もう限界なのかあ？

おいおい、冗談はやめてくれ♡

こんな……くく、この程度のことですってしてしまうなんてことがあるはずないよなあ？♡

ふふ、そうか、そうだよなあ？♡

まだ耐えられる……よなあ……？♡

んん、なら、もっとだ……ッ♡

まだまだ終わらせてやらんぞ……♡

今度は私の方からケツを動かしてやるッ♡

くれぐれも、腰を引いて逃げるような、無様な姿は晒してくれるなよ……？♡

(尻コキ続行、10秒ほど喘ぎ声)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

(少しだけ快感に喘ぎながら)

おお……ッ♡くく、私も少し気持ちよくなってきた……♡

貴様のチンポの先端がッ、マンコとケツ穴の入口をズリズリとッ……♡

くく、たまにはこういうのもいいものだ……♡

そおら、また屁もぶっこいてやろう♡

熱くてくっさあい、特大のを、何発も、何発もな……♡

んんっ……♡ふふ、どうした？♡

ピストンを止めて、慌てて離れようとして……♡

それじゃあまるで、もう一度オナラをぶちまけられたら射精してしまうと……そう言って

いるようなものではないか……♡

逃げられるとでも思ったか♡逃がしてやるわけないだろう♡

ああそうだ♡いいことを思いついた♡

くく、もしも私の屁の連撃に耐えられたのなら、貴様にご褒美をくれてやろう♡  
んん？

ご褒美がなにか、だって？

それはなあ……くくっ♡ふふふ……ッ♡

(密着、有声音囁き)

私との、ラブラブ交尾だ……♡

普段から貴様には厳しく指導してやったからなあ……♡

その分だけ、たあっぷり甘えさせてやる♡

ほおら、想像してみろ……♡

貴様のチンポを私のマンコでもアナルでも好きな方にぶちこんで、ぐちゅぐちゅずぼすぼ、  
何度も何度も奥まで突いて……♡

必死に腰を振れば振ったぶんだけ、私が褒めて、応えてやる♡

頭を撫でたり、キスをしたり……♡

貴様がして欲しいこと、全部してやるぞ……？♡

(ここまで)

ふふ、くくくっ♡どうだ、やる気が出てきたか……？♡

それならいい、あっさりと漏らされてはこちらも興奮めだからなあ……♡

さあ、覚悟しろ♡

これから私は本気で貴様のチンポに屁をぶちまけてやる……♡

耐えて、耐えて、耐え抜いて見せろ……ッ♡

んっ、ふう……ッ！♡

んんっ、んんう～～～ッ！！♡

(放屁 大きめ 三連発 最後は長め)

んふっ、んふふっ、んぬう～ッ！♡

ふう、んう、ふうううう……ッ！♡

おッ♡おっほッ♡おおおッ！♡

おふっ、ふふっ、ふふふふっ！♡

くく、どうだ、どうだぁッ！？♡

私のオナラは最高だろうッ？♡

臭いだろう？ 熱いだろう？ 堪らないだろうッ？

ふふ、くくくっ、あはははッ♡

さあ……ッ、そろそろトドメ、だッ！♡

ちゃあんと受け止めて見せろよお……ッ♡  
んぐっ、おおおおおッ！！♡

(放屁 大きめ)

(射精)

(煽るように)

びゅっ、びゅ〜っ……♡

ふふ、はい、ざ〜んねん♡

貴様の負けだ♡

くく、残念だったなあ……？♡

尻に負ける雑魚チンポ♡そんなモノでは私とラブラブ交尾など夢のまた夢だな♡

くく……おいおい、そんな情けない顔でびゅるびゅる吐き出すな♡

まったく、本当に可愛いやつめ……んっ、お、おおッ♡

あつッ、すごい量だな……♡

私の尻をどろどろにして、それでもまだ出すというのか……♡

ほらほら♡もっと出せ♡出し尽くせ♡

私のナカに出したかったくっさいザーメン、ぜえんぶデカ尻に無駄打ちしろ♡

くくっ、あははははッ♡

(ここまで)

……んっ……お、流石に打ち止めか？♡

凄まじい量の精液だ……♡

くく、尻を伝って大量に床に垂れてしまっている……♡

掃除が大変だな……♡

………んん？

はは、悔しそうな顔をしているなあ……？

そんなに私とハメたかったのか……？

……はあ、仕方のない奴め。

(小声で)

………マンコとアナル、どっちがいい？

(ここまで)

……聞こえなかったか？

(恥ずかしがりながら)

貴様が好きな方を選べと、そう言っている！♡

……マンコとアナル、どちらがいいんだっ！？♡

(ここまで)

……ふふ、そうか、そうかそうか♡

そっちがいいのか、分かった♡

ではそっちを使って、貴様とラブラブ交尾をしてやろう……♡

……………なあって、なッ！♡

そらッ！

(押し倒す)

(密着 有声音囁き)

私がそんなに優しいわけがないだろうがッ♡

くく、まんまと騙されたなあ……？♡

(ここまで)

(サディスティックに)

貴様みたいなザコ童貞チンポにはさらに厳しい躰をしてやるッ！♡

くく、屁よりも厳しく、臭く、熱い……私のクソで、貴様のチンポを埋めつくしてやるッ！♡

糞の海の中でじっくり反省するんだな！♡

ふんっ！♡

(ここまで)

(放屁 大きめ)

ぬおおおッ！♡

先程から屁を垂れていたせいで、既にケツ穴も準備万端だッ♡

ぶっといクソが今にも溢れてしまいそうぞお……？♡

ほら、ほらほらほらァッ！♡ 早くぶちまけさせてくれと、ケツ穴がヒクついて止まらない……ッ♡

くく、ますます興奮してきたッ♡  
せめてもの温情だ♡  
デッカいクソで私も共に果ててやる♡  
一緒に仲良く、クソでイこう、なあ……ッ！♡  
んっ、ふっ、んんっ！♡

(放屁 大きめ)

(排便我慢しながら恍惚と)  
んんっ、おおおッ！！♡  
んっ、ふう、ふふっ！♡  
降りてきた……降りてきた、ぞッ♡  
くく、もうすぐだッ！♡  
くっ、ううう～～ッ！！♡  
出るッ！♡出る、出りゅッ♡  
ぶっとくて、でっかいクソッ♡  
ケツ穴無理やり押し広げて漏れてしまううッ♡  
ほらッ、よお～く見ろッ……貴様のチンポの上に、クソが落ちていくところを、なあッ♡  
さあ、存分に味わえッ！♡  
私のクソで、チンポを濡れさせてしまえッ！！♡  
んんっ、おおおおおおおッ！！♡  
(ここまで)

(脱糞)

(いきみ声混じりの喘ぎ声 10 秒ほど)  
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

(脱糞の快感に酔いながら)  
くく、ふふふっ♡  
クソが、止まらんんッ……♡  
ほおら、まだまだ出るぞ……ッ♡  
クソの海に溺れて、またイケッ、いき死ねッ！♡  
くくっ、ふふふふッ……！♡  
(ここまで)

(いきみ声混じりの喘ぎ声 10 秒ほど)

@@

(脱糞終了)

(数分後)

(余韻に浸りながら)

はあッ、はあッ、はあッ……♡

さすがに、少し疲れてしまったな……♡

ふふ、どうした？♡ぐったりとして……まるで陸に打ち上げられた魚みたいじゃないか♡

ほら、顔を上げてこちらを見ろ……♡

ふふ、すっかり蕩けた顔をしている……♡

とてもそそる、いい表情だ……♡

(ここまで)

(密着 有声音囁き)

ん……ちゅっ♡

……ふふ、びっくりしたか？♡

キスは初めてだったか？♡

……くく、なに、ただの気紛れ。

頑張ったご褒美だ……♡大人しく受け取っておけ……♡

それと……ん、その……次の休みの日に、私の家に来ないか……？

もちろん嫌なら構わない！

……貴様も、私を良くは思っていないだろうからな……。

……だが、もしも……そう、もしも気が向いたら、来い。

……待っているからな。

(ここまで)

#### 【第四章】女教官のラブラブ交尾

(キシリアの自宅にて)

(ノック)

(扉を開ける)

(冷静を偽って)

……来たのか。

……なあ、私の家に来るということが、どういうことなのか……分かっているよな？

……それならいい、入れ。

(ここまで)

(家に入る)

(覚悟を決めるように)

すう～……はあ～……。

ん……おい、こっちを……見ろ。

(服を脱ぎ、下着を見せる)

(恥ずかしがりながら)

いきなり脱ぎ始めて、驚いたか？

私の下着を、見せたかったんだ……。

こういう……なんというか、乳首とマンコが丸見えの、破廉恥な下着を、男は喜ぶと聞いた……。

貴様のために、選んでみたのだが……どうだ？

興奮、するか？

……ふふ、そ、そうか。気に入ったか。

(ここまで)

(喜んでいるのをごまかすように)

……そ、そうだ！

な、何か飲むか？

コーヒーで、コーヒーで良いな！？

(ここまで)

(数分後)

……よし、できたぞ……ほら、飲め。  
……それで、えっと……何から話したものか……。  
……そうだ、まずは貴様に謝らなければならないことがあるんだ。

(もじもじしながら)

……私は……その……貴様のことを……好き、なのだと思う……。  
いや、思う、ではないな……間違いなく好きなのだ……。  
貴様に弟を重ね合わせ、身を案じていたのは本当だ！  
だが、貴様をいじめているときの……あの、おどおどした怯えるような、懇願するような、  
そんななんとも言えない表情が……私を狂わせた……♡  
だからつい、貴様の反応をもっと見たいと思い、わざと厳しく接して、あんなことをして  
しまったんだ……♡

(ここまで)

……その、すまなかった、な。  
イロイロと、嫌なことをしただろう……？  
………そうか。  
許してくれるのか……ありがとう、嬉しいぞ……。

(間近で)

……な、なあ。  
どうして……今日は私の家に来たんだ……？  
……それは、つまり……貴様も、私に対してそういう思いがあると、そう思っているのか  
……？  
………やはり、そう……だよなあ……♡  
……ぐっ、も、もう我慢できんっ！  
(ここまで)

(押し倒す)

(以降密着)

貴様が悪いんだぞ？♡こんなにも可愛い反応をする貴様がいけないんだ……！♡  
んっ、んむうっ！♡

(ディープキス 10 秒)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

くそっ、くそっ！

訓練中もじーっと私の尻ばかり見て……！♡

まったく、貴様という奴はまったく……ッ！♡

私がどれだけマンコとケツ穴を渦かせていたのか分かっているのかっ！♡

毎日毎日どんな思いで自分を慰めて、それでも満足できなくて……！♡

ああっ、もうダメだ！♡ 貴様のチンポが欲しい！♡

マンコでもアナルでもいいっ！♡

無理やりぶち込んで、奥の奥までゴリゴリ突きまくって……ッ！♡

種付けっ、種付けして欲しいッ！♡

早漏でも構わん！♡

たっくさん射精してくれればそれでいいッ！♡

んっ、ちゅっ、んん〜っ！♡

(ディープキス 10 秒)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

んふはあっ！♡

はあっ、はあっ、はあ〜っ！♡

もう無理だッ！♡もう待てんッ！♡

マンコっ、マンコでいいなっ？♡もう入れるぞっ！♡

ハメるっ、パコパコするっ！♡今すぐぶち込むッ！♡

セックスッ、交尾ッ、ラブラブエッチいッ！♡

んっ、おっ、おおおおお〜〜〜ツツ！！♡

(挿入)

おおっ、んぐあ……おおおおお〜〜〜ツツ！！♡

(激しい絶頂)

はあっ、はあっ、はあ〜っ！♡

ふんッ、おおおお〜〜〜〜〜ツツ！！♡

たまらんっ、たまらんぞおっ！！♡

くくっ、貴様のチンポっ♡ ビクビク震えて、熱くてっ♡  
入れただけで……ンォお……ッ♡  
はしたなく、いき散らしてしまった……ッ♡  
だ、だがまだ、こんなものでは物足りんぞっ♡  
い、いいかッ？♡  
腰、振るぞッ！！♡

(ピストン開始)

おおっ、んんんっ！♡止ま、らんッ！♡  
勝手に身体、動くウっ！♡  
くうウウウっ、すきっ、好きだッ！♡  
大好きだぁッ！！♡  
んんっ、ちゅぱっ、んむうっ！♡

(ディープキス 10 秒)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

んはぁっ、はぁっ、はぁ〜ッ！♡  
キクッ、これ凄いッ！♡  
気持ち良すぎるうっ！♡  
ディルドなんかとは比べ物にならんッ！♡  
快感強すぎてっ、理性飛ぶうッ♡  
んふっ、んんっ、んふふふっ♡  
貴様も、貴様もそうか？♡ そうだろう？♡ そうに決まっているッ！♡  
子宮が降りてきてるの分かるか？♡  
貴様の精液欲しがっているんだ♡  
早く出せ♡ いっぱい出して孕ませろとっ、そう言っているんだ！♡  
んんっ、ちゅるっ、んんん〜ッ！♡

(ディープキス 20 秒)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@  
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

ちゅばぁ……はぁ、はぁ、はぁ〜……♡ 愛している、貴様を愛しているぞ♡んんっ、ちゅ  
うッ♡

ほらっ、何をしているっ！♡きしゃまも私に抱きつけっ♡  
こーびっ、交尾とはこういうものだっ！♡  
互いに密着して、身体を擦り付けあって……ッ！♡  
んぐっ、ぐるっ、イグッ、イグウッ！♡

(激しい絶頂)

んふっ、ふふふふふふッ♡  
果てながらっ、腰を振り続けるのッ、いいぞおッ……♡  
んおお、マンコ焼けるっ、溶けるうう～～ッ！♡  
ズポズポとまらんッ！♡セックスやめたくないっ、ずっと続けたいッ！♡  
朝もっ、昼もっ、夜もおッ！♡ずっと貴様とこうしてたいッ！♡  
んふっ、ふふっ♡そうだっ、もっと強く抱きしめてくれえっ！♡  
もっともっと貴様を感じさせて欲しいんだっ！♡  
私の心を満たしてほしいんだあッ！♡  
おほっ、おおおおおッ！♡

(ピストン速度上昇)

んッ、どうしたあ……？♡  
出るのか？♡出してくれるんだな？♡  
嬉しいぞおッ！♡貴様の熱い子種で私のマンコ満たしてくれえッ！♡  
らぶらぶせつくすで私を孕ませてくれえっ！♡  
んんっ、ちゅっ、んん～～ッ！♡

(ディープキス 20 秒)

@@  
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

ほらだせッ、射精しろッ！♡  
私のマンコの中に射精して、受精させてみろッ！♡  
貴様の種を、私の卵に植え付けろオオ～～ッ♡  
んんっ、ちゅばっ、んん～～ッ！♡  
おおおっ、くるううッ！♡来るのかッ？♡出すのかッ？♡  
精子ッ、ドロッドロの濃厚ザーメンッ！♡  
私を孕ませる気を出し尽くしてくれッ！♡

くうっ、んおおっ、受け止めるっ、全部受け止めてやるうッ！♡  
んんっ、ちゅっ、んむう〜〜ッ！♡  
んおおおおおおおおおおおおおおおッ！！♡

(射精)

んんっ、んっ、んぐううう〜〜〜〜〜ッ！！♡

(激しい絶頂)

んんっ、んふっ、んむう……♡  
……ああ、貴様のが、流れ込んでくる……♡  
熱くてドロっとしていて……♡  
くく……こんなものじゃ、足りん♡  
もっと、もっともっと、も〜っ……私にぜえんぶ、くれえッ！♡

(ピストン再開)

おっ、んんっ、んひいい〜〜〜ッ！♡  
まだだッ、まだまだ足りないぞッ！♡  
貴様の全て、吐き出すまで終わらないからなッ！♡  
パコパコキンもちいい〜〜ッ！！♡  
んおっ、おほっ、おおおお〜〜〜ッ！！♡  
んぬあおッ♡はひっ、はひっ、はあぁッ！♡  
ケツ肉打ち付けてっ、何度もっ、何度も何度もおッ♡  
こーびっ、交尾するぞおッ！♡まだまだっ、もっともっとおっ！♡  
んんっ、おっ、おっほおおおおおおおおおおおおおおッ！！♡♡  
あいしてるぞっ！♡だいすきなんだぁッ！♡  
だからっ、わたしとけっこんしろおオッ♡  
けっこんっ、ずっと一緒につ、毎日ッ、毎日毎日マンコもアナルも真っ白になるまで交尾  
するんだあぁッ！♡  
おおおおおおおおお〜〜〜〜〜ッ！！♡  
イぐイぐイぐイぐイぐッ♡  
んッ、ほおおおおおッ！！♡

(激しい絶頂)

(射精)

(数時間後)

はあッ、はあッ……♡

ふんッ、んん……♡

(ペニス引き抜き)

……ふふふっ♡

これだけ出してもまったく萎える気配がないとは……くく、底なしだな……♡

だが、それは私も同じか……♡

この程度ではまだまだ満足できない……♡

さっきまでは手加減していたが、本命は……ん、しょ……♡

くく、ぶっといクソをブリブリひり出すクソ穴だ……♡

考えてみる♡普段からあれだけ巨大なクソが漏れないようにぎっちり締め付けているんだ♡

それに、ヌルヌルほかほかで、いつでもチンポを迎え入れることができる……♡

ぜえ～ったい、気持ちいいぞお……？♡

これを使わないという選択肢が、あるか？♡

当然、ないだろう？♡

ほうらあ♡早くぶち込んでしまえ♡

貴様の大好きな、私の糞穴に……♡

んんっ、んほおっ、おおお～～～～ッ！！♡♡

(アナルに挿入)

んふっ、ふふっ♡おおお……♡入ってくる……♡

私のケツ穴にッ……くく、念願の、チンポ……ッ！♡

あああッ、これだよッ、これが欲しかったあ……ッ！♡

何回っ、この瞬間を妄想してオナニーしたことか……ッ！♡

ズボズボケツ穴ほじくって、腸内をゴリゴリ削って、私の一番奥の奥で……ッ！♡

そして今ッ、その夢が叶ったんだ……！♡

たまらなく幸せで、気持ちよくて、嬉しくて、愛おしくて、もう頭がおかしくなりそうだッ！♡

んんっ、んふっ、んん〜〜ッ！♡

(ディープキス 10 秒)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

んふっ、んふふっ♡

さぁ動け♡腰を動かせ♡クソ穴を貴様のチンポで突きまくれえッ！♡

(ピストン開始)

んぎゅッ！？♡ おおおおおおお〜〜〜ッ！！♡♡

いきなり激しすぎるぞっ、そんなふうにはされたらすぐイってしまうだろうがッ！♡

おおっ、んぐっ、んんっ、んひひひひ〜〜〜ッ！？♡

ケツ穴はっ、敏感で弱いんだっ、もっとゆっくりいっ♡

う、うそっ、やっばうそだっ、もっと激しくしてくれっ、止めないでくれえッ！♡

ああっ、だめだあっ、すぐにイグウウッ！！♡♡

んッ、ぐうううっ！♡

(激しい絶頂 放屁 大きめ)

(ピストン継続)

おっ、おおっ、おおっ♡

いくとッ、オナラ漏れてバレてしまうッ♡

下品ないきッ屁止まらないッ♡

おおっ、おおおおお〜〜〜ッ！！♡

ダメっ、また出るっ、出ちゃううっ！♡

(放屁 大きめ)

んんっ、んっ、んん〜〜〜ッ♡

クソおッ♡恥ずかしいっ、弱点バレバレのくっさいガスを撒き散らしてしまううっ♡

出すのには慣れていてもッ、ズコズコされるのには慣れていないんだッ♡

そのせいで、こんなにも感じてッ♡

くうっ、ううっ、うううう〜〜〜ッ！！♡♡

くそっ、くそおッ！♡

弱点突かれるとっ、屁が漏れてッ♡

好きッ♡もっと好きになってしまうだろうがッ！♡  
少しは腰振りっ、えんりよしおッ♡  
んんっ、んふっ、んん〜〜ッ！♡

(ディープキス 10 秒)

@@

んんっ、ちゅぱっ、んん〜〜ッ！♡  
んっ、んむうっ、んん〜〜ッ！♡  
ふはア……♡  
ハアッ、ハアッ……んッ……♡  
ちょ、ちょっと腰振り、止めろ……♡  
い、いいから、止めろ……な……？♡  
……はア……はあ……はあ……♡  
……ん、そう、それで良い……♡  
貴様は、そのまま座っていてくれれば、大丈夫だ……♡  
このまま貴様に任せていては、ケツ穴がおかしくなってしまう……♡  
私が動くから、貴様はじっとしている……♡  
んっ、んんっ、んふう……ッ♡

(騎乗位)

んんっ、んふっ、ふっ、ふッ……♡  
こういうッ、まったりした交尾も良いものだなっ、んふふ……♡  
貴様がっ、よく見える……♡  
私を見つめる、貴様の目も……♡  
繋がっているところも……♡  
全部丸見えで、繋がってる実感があって……これはこれで、幸せだ……♡  
あッ、まずい……、これ、だめだっ、何か来るッ、あ、あああ……ッ！♡

(潮吹き)

おおおおおおおおお〜〜〜〜〜ッ！♡♡  
はあー……♡はあー……♡はあー……♡  
す、すまない……幸せすぎて、我慢できなかった……♡  
ケツ穴締め付けて、幸せアクメ、キメてしまった……♡

腰も、抜けてしまって……は、はは……任せておくと、言ったばかりなのに……面目ない  
……♡  
……んんッ♡

(放屁 大きめ)

くうっ……♡  
きつと……身体が、快樂を求めているのだろうか……♡  
貴様がどうすれば興奮するのか、この淫乱ボディは理解しているらしい……♡  
ん……くく、ならばもう、理性は捨ててしまうか♡  
もう私は、貴様を止めない♡  
好きなように、好きなだけ、私のケツ穴を犯せ♡  
金玉が空になるまで、私のクソ穴に出し続ける……ッ！♡  
チンポ萎えるまでクソ穴をほじくれッ……！♡  
体力が尽きるまで、腰を振るんだッ……！♡  
そして、私のケツ穴を貴様のザーメンで、孕ませてくれ……ッ！！♡  
さ、ハメるんだ……後ろから、貴様の遠慮なしの本気ピストン、私にぶつけてみる……  
ッ！♡

(後背位)

んんっ、んふっ、んん～～ッ！♡  
おおおおおおおお～～～ッ！♡♡  
キクッ、キクキクキクキクッ、これすごいイッ！♡  
突かれる度にケツ奥がきゅんきゅんしてええッ！♡  
あああああああ～～～ッ！！♡  
イクの止まらないッ、またイぐううううう♡  
雑魚アナルッ、イグの止められにやいいいいいいいい～～～ッ！！♡

(絶頂 放屁 大きめ 射精)

(ピストン一時停止)

んぐおうッ、ん、おおおッ……♡

(すぐにピストン継続)

んッほおッ！？♡おおおッ、おおおおおおおおお〜〜〜〜ッ！！♡  
独りよがりのかっこいいピストンしゅごおッ！♡  
ピストン止めないの素敵いいッ！♡  
かっこいいッ、雄々しいいいッ！♡  
おおおおッ、んぎゅッ、おおおおおおおおおおおおッ！！♡  
汚い声ッ、出るッ♡  
抑えられなッ、お` おおおおおおおおおおお〜〜〜〜ッ！！♡

(汚喘ぎ 20 秒ほど)

@@  
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

すまんッ、本当にすまないッ！♡  
やっぱむりっ、無理いいッ♡  
許してくれッ、もう無理なんだッ！♡  
こんなものっ、耐えられないッ！♡  
あっ、ダメだっ、今出されたら、もうッ……♡

(射精、絶頂)

ひぐうううううううううううッ！？♡  
あひっ、あへえっ♡せーしっ、精子きたアッ♡  
腸内っ、熱くて濃厚なのびゅーってされてるううううううううううううッ♡  
んほっ、んおっ、おおおおお〜〜ッ！♡  
めしゅっ、メスになりゅッ♡  
こんなの覚えたらっ、戻れなくなるううううううううううううううッ！♡  
お` おおおッ、おおおおおおお〜〜〜〜ッ！♡  
お` ッ、お` ッ、んお` ッ♡  
んんっ、んお` っほオオオおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおッ  
♡♡

(さらに激しい潮吹きと連続絶頂)  
(射精)

んフーッ♡フーッ！♡フーッ！！♡

んっ、また、出してる、のか……ッ？♡  
んおっ、んおっ、おっ、おっ♡  
んんっ、んっ、んっ、んんんっ、んっふウウウッ！♡  
はぁッ、んん……ッ、まったく、底なしの性欲だなっ、貴様は……ッ！♡  
少しは私を、思いやれッ……♡  
んッ！♡

(特大放屁)

くく、くくく……ッ♡

(有声音囁き)

……でも、そこがたまらなく好きだぞ♡  
大好き♡愛してる♡  
だからもっと、もーっといっばい、出せ♡  
(ここまで)

んおっッ！！♡おっッ、おっッ、おっッ、おっッ、おっッ！！♡

(汚喘ぎ 15 秒ほど)

@@

(フェードアウト)

(数時間後)

(射精)

おへっ、おええええ……♡  
んおっおっッ……♡  
何回目の、射精だ……？♡  
もう、数えるのも億劫になるくらい、出した気がするが……♡  
マンコも、ケツ穴も、真っ白だ……♡  
んっ、ようやく、打ち止めか……♡  
最後の一発、尻穴の奥で、どくんどくん脈打って……♡  
くく、よくもまあこれだけ出せるものだ……♡  
貴様は、絶倫というか、変態と言うか……私のことを、好きすぎだな♡

ん、おいッ、勝手に抜くなッ……ああ……♡  
ケツ穴から溢れてくる精液が、勿体無いじゃないか……♡  
ん、漏れた分は、指先ですくって……こうして……口に……♡  
ちゅぱ、れろ、ちゅぷ……んん……♡  
ふふ、美味しい……幸せだ……♡  
しかし、この程度で終わりではないだろう……？♡  
貴様の身体は、最後の一発をまだ残しているはずだ……♡  
その一滴まで、私が搾り取ってやるからな……覚悟しろよ……♡んん……ッ♡

(ディープキス 10 秒)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

んっ、んふっ、んん～～ッ！♡

(水気のある放屁)

ふは……♡  
さ、出すぞ……よく見てろ……♡  
貴様が出した精液と、貴様がだあいすきなウンコ、ぜえんぶまとめてぶち撒けてやるから  
な……♡  
んっ、んんっ、んんん～～～ッ！！♡

(精液排泄)

おッ♡ザーメンブリュブリュ出てりゅッ♡  
くははッ、汚い音だなあ？♡  
下品すぎて、くくっ、思わず笑ってしまうな♡  
んおッ♡おッ♡  
たまに、ダメになったのが、つかえてしまうのが……ッ♡  
んんッ……気持ちいい、な……♡  
んっ、おッ……クソが、降りてきた……♡  
んんッ、くふッ♡  
貴様がたっぷり出してくれたザーメン浣腸のせいで、一気に出てしまいそうだ……♡  
んんっ、おおおおおおおおおお～～～ッ！！♡  
きたっ、クソが来たぞっ♡  
出る出る出る出る出るッ♡クソがぶりゅぶりゅ出てくるうううううッ！♡

よく見てろよおッ♡あゝっはアアあああッ！♡♡

(脱糞)

(脱糞の快感に喘ぎ散らす)

んっほおおおおおおおおおおおおおおおおッ♡

あはッ♡んッ、おお……ッ♡

んひいいっ、これッ、気持ちいいッ……♡

頼むっ、しがみつかせてくれ……ッ♡

貴様にしがみついていないと、耐えられないいい……ッ！♡

(脱糞絶頂)

おゝッ！♡おゝッ！？♡

くく、ケツ穴敏感になりすぎて、いきっぱなしだ……♡

これではまともにッ、クソをひり出すこともできないな……♡

貴様のせいだ、貴様のせいで……んっ、んんっ！♡

おおおおおッ！♡♡

おゝッ！？♡おおッ……♡

……ん、ふふ……♡

はあーっ、はあーッ……んん~~~~~ッ！♡

(脱糞終了)

(放屁)

(余韻に浸りながら)

んひひ、ぜんぶ、でたあ……♡

んふふ……♡

な、なあ……？♡

ケツ穴も、マンコも、こんなに大量に出したんだ……♡

もちろん……責任は、とってくれるよな？♡

ふふふ……♡

どうすればいいのかは、わかるよな……？♡

くく、そうだ、結婚だあ……♡

貴様は兵士を志すのをやめて、私の夫となり、毎日私をハメ倒していればいいッ♡

私に養われろっ♡私のために毎朝パンを焼けっ……！♡

どうだ……？

悪い提案では、ないだろう……？

受け入れて、くれるか……？

(聞き手頷く)

……そうかッ♡

くく、嬉しいぞ……♡

ほら、こっちに來い……♡

ねっとり、愛し合う夫婦のキスをするぞ……♡

ん……♡

(ねっとりとしたディープキス 20秒ほど)

@@

@@@@@@@@@@@@@@@@